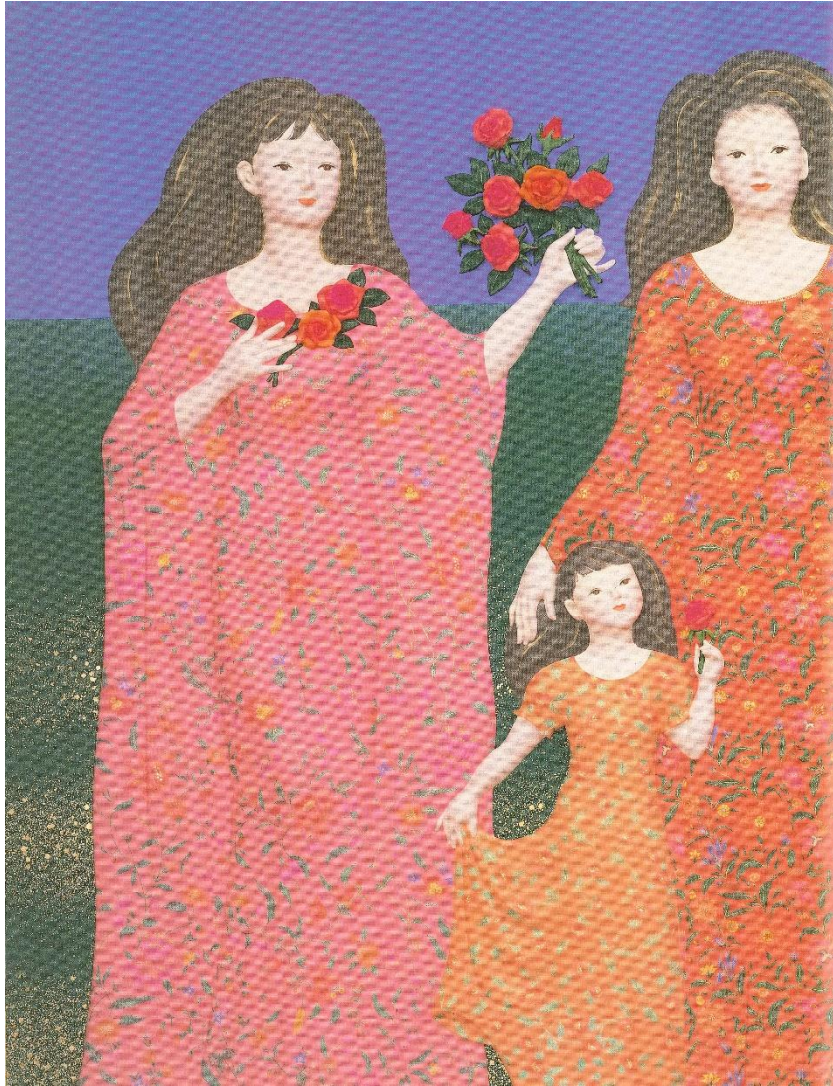


広島県女性総合センター

エソール広島事業概要



令和6（2024）年7月

公益財団法人広島県男女共同参画財団

はじめに

令和6(2024)年度エソール広島事業概要を作成しました。

本書には、令和5(2023)年度の事業実績と令和6(2024)年度の事業計画をとりまとめております。御活用いただければ幸いです。

エソール広島(広島県女性総合センター)は、女性の地位向上と社会参画の活動拠点として、平成元年に広島市中区富士見町地内に開館して以来、女性も男性も等しく能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、社会の変化に対応しつつ、「情報」、「チャレンジ支援」、「研修」、「相談」、「交流」の5つの柱である事業を、県や市町、関係団体等と連携を図りながら展開してまいりました。

そうした中、エソール広島は、富士見町地区再開発事業により、平成30年6月におりづるタワー10階(広島市中区大手町地内)に移転しました。昨年度は、コロナ禍の影響も薄れ、対面による各種講座の開催や連携・共催事業の実施等により、約2.5万人の皆様にご利用いただきました。

今後も、オンラインの活用をはじめとした各種講座や連携・共催事業を進めるなど、関係各位のお力添えをいただきながら、男女共同参画社会の実現に向けて、5つの柱の事業に全力を挙げて取り組んでいく所存です。

当財団が、今後とも、より一層その役割を果たしていけますよう、引き続きの御指導と格別の御支援をお願い申し上げます。

令和6(2024)年7月

公益財団法人 広島県男女共同参画財団
理事長 石田 洋子

男女共同参画社会の実現を目指して

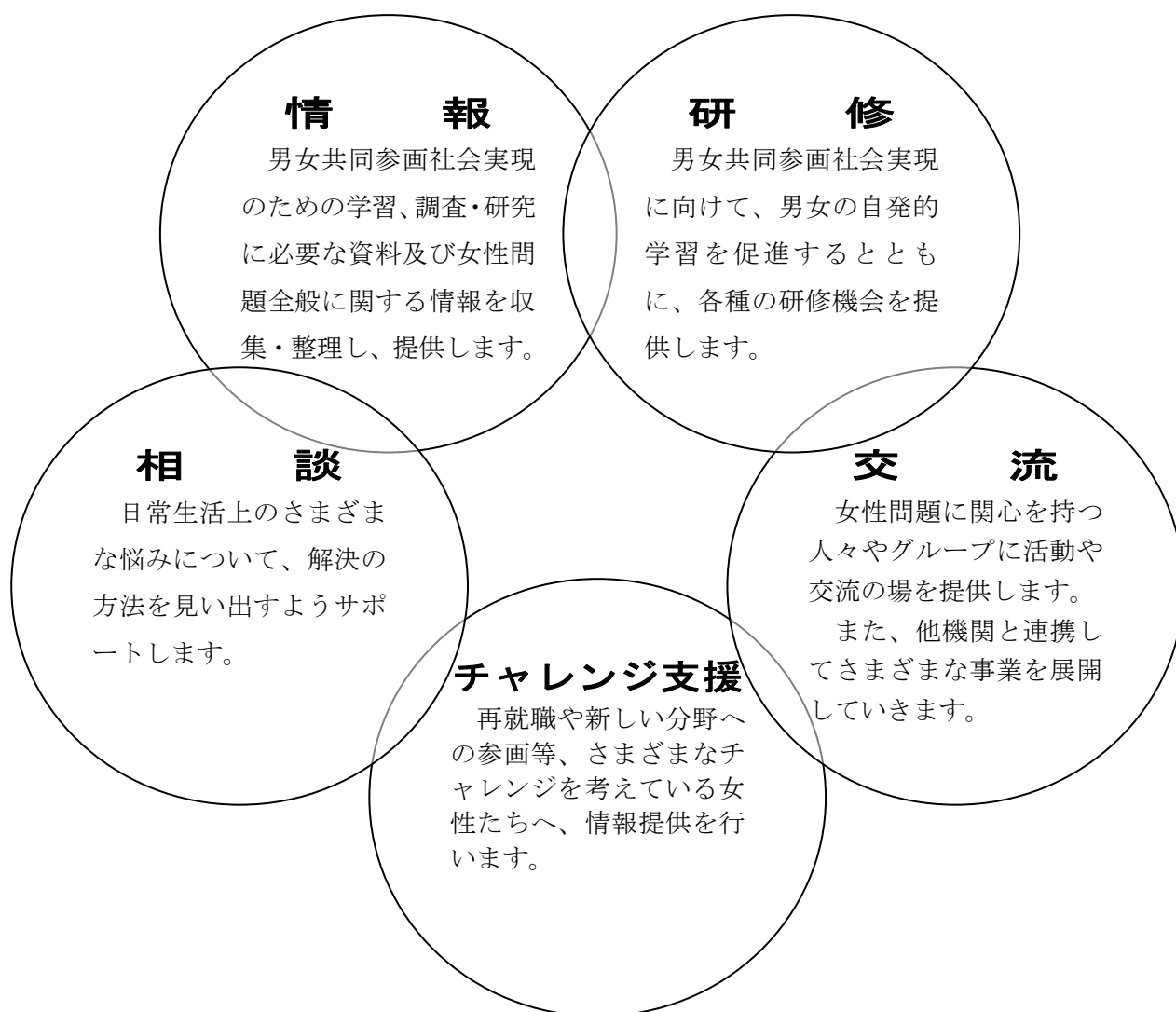
目 次

I	目 的	1
II	令和6年度事業計画	2
III	令和5年度事業実施報告	5
	1 人づくり	6
	2 環境づくり	17
	3 安心づくり	25
	4 財団運営	30
IV	組 織	31
V	運 営	32
	1 評議員会の構成	32
	2 理事会の構成	33
	3 評議員会の開催状況	34
	4 理事会の開催状況	35
VI	決 算・予 算	39
VII	施 設	40
VIII	沿 革	43

I 目 的

エソール広島は、女性も男性も一人の人間としての尊厳が保障され、安心して生き生きと暮らすことのできる地域社会づくりを目指して、女性の自立と社会参画を促進し、県民福祉の向上と明日の広島県づくりを目的として設置されました。

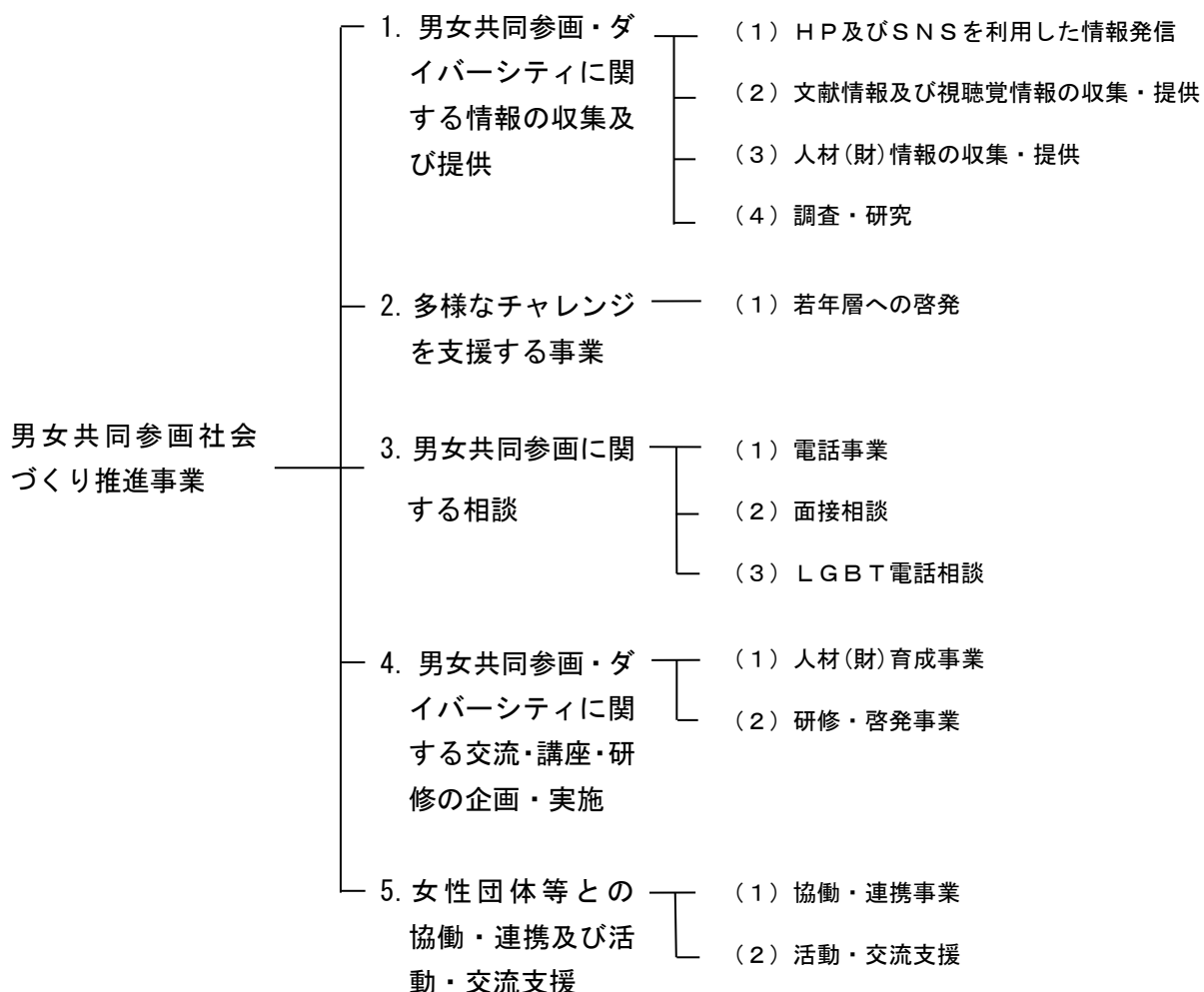
エソール広島では、次の5つの分野で事業を実施しています。



男女共同参画推進 21 世紀基金（自主事業）

平成 11 年度に男女共同参画社会の実現を望む民間人の寄附金を基に創設されたもので、当財団の自主財源として男女共同参画社会の推進に資する事業を行っています。

Ⅱ 令和6年度事業計画



1 事業の趣旨

「広島県男女共同参画推進条例」に定める基本理念及び「わたらしい生き方応援プランひろしま（広島県男女共同参画基本計画(第5次)(令和3年度～令和7年度)）」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けてジェンダー平等の推進及び性の多様性の理解促進を図るための事業を実施する。また、男女共同参画やダイバーシティ（多様性）に関わる団体、市町等と連携・協働して、より公益目的に資する事業を展開する。

特に、ウィズコロナ時代に対応し、困難を抱える方への支援の充実・強化に努める。

更に、財団の強みを活かしつつ、エソール広島に幅広い世代が集い、活動・交流が行われるよう、拠点性を高める。

2 内 容

課題解決能力等を持った人材（財）の育成、支援者の人材（財）育成及び講座の修了生等との連携、エソール広島のミッションや役割を広く認知・参画してもらう取組等を実施する。

また、女性団体等の他、高校・大学等とも連携し、意見交換や議論をする場づくり、活動発表・交流の機会を確保し、若年層に向けてもアプローチしていく。

（１）男女共同参画・ダイバーシティに関する情報の収集及び発信

項 目	内 容	財源
HP 及び SNS を利用した情報発信	○HP、Facebook、Instagram による情報発信 ○メールマガジンによる情報配信（月 2 回登録者へ配信） ○HP の見直し	補助
文献情報及び視聴覚情報の収集・提供	○図書及び行政資料の閲覧及び貸出 ○男女共同参画推進啓発等パネルの作成・貸出	補助
人材（財）情報の収集・提供	○関係団体の活動情報 ○講師等の人材（財）の情報収集 ○審議会等委員への人材（財）紹介	補助
調査・研究	○大学や他団体との連携による調査・研究	基金

（２）多様なチャレンジを支援する事業

項 目	内 容	財源
若年層への啓発	○高校への出前授業（5 校程度実施） ○広島県教育委員会事務局との共催 県立高校への「LGBT」「命の教育」をテーマとした出前授業（30 校実施）	基金 補助
	○高校及び大学等との連携 男女共同参画に関する社会課題について、自主的な学びや若年層に特化した活動・交流の場を提供	補助

（３）男女共同参画に関する相談

項 目	内 容	財源
電話相談	内容：生活上の困りごと等について 対応：専任相談員 1 名、相談員 1 名、ボランティア相談員 29 名 時間：10～16 時（水・日・祝日除く） 研修：相談員に対し、年 6 回研修会を実施	補助
面接相談	内容：主に夫婦、家族等について 対応：専任相談員 1 名、ボランティア相談員 4 名 時間：毎週金曜日 13 時～16 時	補助

LGBT 電話相談	対応：専任相談員 1 名、相談員 3 名 時間：毎週土曜日 10 時～16 時 研修：顧問を交え事例検討会及び評価を実施	補助
-----------	--	----

(4) 男女共同参画・ダイバーシティに関する交流事業・講座・研修の企画・実施

項目	内容	財源
人材育成	○エソールひろしま大学 ○支援者養成講座（ヘルプ出しあえる関係づくり） ・聞く技術（3回連続講座） 「対人支援の技術-カウンセリングから学ぶ-」 ・支援の技術（3回連続講座）「専門家から学ぶ」	補助 基金
研修・啓発事業	○研修受託（自治体や企業等から研修の受託[講師派遣]） ○共催事業（研修等） ○男女共同参画公開講座 ○男女共同参画週間等での啓発事業 ○LGBT理解促進事業 ○エソールつながるトークリレー（YouTube）	基金 基金 補助 補助 補助 補助

(5) 女性団体等との協働・連携及び活動・交流支援

項目	内容	財源
協働・連携事業	○共催及び後援 新たに事業を始める女性団体等の活動をサポート	基金
活動・交流支援	○交流・連携 各支援者と連携を図り、エソール広島としての支援のあり方等を検討 ○高校及び大学等との連携 ○男女共同参画を目的とした内容について、研修室等の活動の場を提供 ○情報スペースでの資料等の提供	基金 補助 補助 補助

Ⅲ 令和5年度事業実施報告

【事業一覧】

I 人づくり

1 男女共同参画・ダイバーシティに関する交流事業・講座・研修の企画・実施

- (1) 男女共同参画に関する人材育成 補
- (2) 男女共同参画に関する研修・啓発 補・基・委

2 多様なチャレンジを支援する事業

- (1) 高校生向け出前授業 補
- (2) セクシュアリティ教育講演会 補

II 環境づくり

1 男女共同参画・ダイバーシティに関する交流事業・講座・研修の企画・実施 (再掲)

- (1) 男女共同参画に関する研修・啓発(再掲) 補・基・委

2 多様なチャレンジを支援する事業(一部再掲)

- (1) 高校生向け出前授業(再掲) 補
- (2) セクシュアリティ教育講演会(再掲) 補
- (3) 高校・大学等との連携 補

3 男女共同参画・ダイバーシティに関する情報の収集及び提供

- (1) ホームページ及びSNS等を利用した情報発信 補
- (2) 文献情報・視聴覚教材の収集及び提供(情報スペースの運営) 補

4 女性団体等との協働・連携及び活動・交流支援

- (1) 女性団体等との協働・連携 基
- (2) 女性団体等への活動・交流支援 補

Ⅲ 安心づくり

1 男女共同参画に関する相談

- (1) 相談事業(エソール広島相談事業) 補
- (2) 専門家による無料相談会 委
- (3) 相談員研修 補

【財団運営】

IV 財団運営 補

※ 補 : 県補助事業、基 : 21世紀基金事業、委 : 委託事業

I 人づくり

1 男女共同参画・ダイバーシティに関する交流事業・講座・研修の企画・実施

(1) 男女共同参画に関する人材育成

ア エソールひろしま大学

(ア) 実施内容

男女共同参画社会づくりを推進するため、困難・不確実性が拡大する時代に、自主性・自立性を持ち、柔軟に考え、生き抜く力を身につけた人材を養成するための講座を実施してきたが、受講希望者の減少等により、令和5年度は休止とした。

(イ) 実績・成果

平成18年度に開始したこの事業のこれまでの実績は次のとおり。

区 分	修了者（累計）	開 講 年 度
基礎講座	547 名	平成 18～30 年度
応用講座	245 名	平成 19～29 年度
専科	107 名	平成 19～26 年度
人財養成講座	37 名	令和元～4 年度

(ウ) 課題

「ひろしま女性大学」では、政策方針決定の場へ参画する女性を増やそう、という明確な目標があり、これに関しては所期の目標が概ね達成されたと考える。

令和2年度から4年度までの3年間は、SDGsをテーマとし、実施してきたが、ターゲット層が定まらず、受講者が集まらないことなどが課題となった。

今後、「大学」という名称を掲げて事業を実施するためには、ターゲット層、テーマ等を明確にした上で、取り組んでいく必要がある。

(エ) 今後の取組

今後の「エソールひろしま大学」のあり方と具体的な内容について見直す。

イ 対人支援の技術

(ア) 実施内容

ウィズコロナの時代に対応し、困難を抱える方への支援の充実・強化を図るため、人と関わる上で基本となる「聴く技術」を体験的に学び、相談技術を身に付けた人材を育成する講座を実施した。

3回連続講座後、受講者の希望により、「カウンセリング理論・技術」の活かし方等についてのフォローアップ研修を実施した。

また、喫緊の課題として捉えられている高齢者問題と、子どもの発達や成長、困りごとに対する支援を様々な角度から学ぶ、ワンデーセミナーを2講座実施した。

① カウンセリングから学ぶ（3回連続講座）

- ・形 式：集合
- ・定 員：30名

- ・受講料：20,000円
- ・プログラム（10:00～16:00）

実施日	テーマ	講師
6/24	カウンセラーの聴き方	宮田 智基さん (帝塚山学院大学大学院教授)
7/15	カウンセラーの応答スキル	
7/22	事例素材をもとにした応答スキルの振り返り	

② カウンセリングから学ぶ（フォローアップ研修）

- ・形式：集合
- ・受講者：令和4年度、5年度同講座修了生
- ・受講料：6,000円
- ・プログラム（10:00～16:00）

実施日	テーマ	講師
11/25	家族コミュニケーションの循環を変える カウンセリング理論・技術の支援場面への適用	宮田 智基さん (帝塚山学院大学大学院教授)

③ ワンデーセミナー I

- ・形式：集合
- ・定員：30名
- ・受講料：6,000円
- ・プログラム（13:00～16:00）

実施日	テーマ	講師
8/5	進む長寿化と高齢期生活の変容 ～世代とジェンダーの視点から～	春日 キスヨさん (臨床社会学者)

④ ワンデーセミナー II

- ・形式：集合
- ・定員：30名
- ・受講料：6,000円
- ・プログラム（13:00～16:00）

実施日	テーマ	講師
9/3	子どもたちを社会で育む	土居 和子さん (臨床心理士・公認心理師・社会福祉士)

(イ) 実績・成果

① 受講者数等

「カウンセリングから学ぶ」に関しては、令和5年度は、定員を上回る39名の受講があった。

ワンデーセミナーの受講者は、目標とする定員の半数にとどまった。

区分	修了者		回数等
	令和5年度	令和4年度	
カウンセリングから学ぶ	37名	29名	3回連続 (講師1人)

区 分	修了者		回数等
	令和5年度	令和4年度	
〃（フォローアップ研修）	18名	17名	1回 （講師1人）
ワンデーセミナーⅠ	15名	—	1回 （講師1人）
ワンデーセミナーⅡ	15名	—	1回 （講師1人）
専門家から学ぶ	—	30名	3回連続 （講師4人）



カウンセリングから学ぶ
宮田先生の講座



ワンデーセミナーⅠ
春日先生の講座



ワンデーセミナーⅡ
土居先生の講座

② 受講者の満足度「カウンセリングから学ぶ」

受講者の満足度は非常に高く、フォローアップ研修にもつながったものと思われる。

		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	計
6/24	人数（人）	29	3	1	1			34
	割合（％）	85.3	8.8	2.9	2.9			
7/15	人数（人）	28	3				3	34
	割合（％）	82.4	8.8				8.8	
7/22	人数（人）	24	6	1			3	34
	割合（％）	70.6	17.6	2.9			8.8	

③ 受講者の声（抜粋）

- ・ 講義の内容が大変分かりやすかった。理解しながら受講することができた。
- ・ 少し専門的な内容も多く、聴きごたえがあった。
- ・ 「聴く技術」の奥深さを知ることができ、大変勉強になった。
- ・ 基本的なことを教えていただき、理解しているつもりではあったが、実際にはできていない自分に気づくことができた。
- ・ 受講料が高いのではないか。（ワンデーセミナー）

（ウ）課題

社会的ニーズに応じた講座ではあったが、受講料の問題等などから、受講者の確保に苦慮した。

受講者の確保に向けて、受講料及び広報の仕方等を工夫する必要がある。

(エ) 今後の取組

当財団が実施する意義を考え、講座の内容を組み立てるとともに、無料公開講座や受講料の引き下げを検討し、引き続き、講座を実施する。

ウ メンタルサポーター養成講座（平成 15 年度から開講）

(ア) 実施内容

相談業務や対人援助活動に携わる方を対象に、社会状況の変化や人間のこころの成り立ちを理解し、男女共同参画の視点を持った相談員を養成する講座を実施した。

今期は、「困難女性支援法」施行に併せて、困難な問題を抱える女性や子どもの支援に焦点に当てるとともに、DVや性被害など社会問題も取り上げた講座内容とした。

- ・ 形式：集合（7回連続講座）
- ・ 定員：25名
- ・ 受講料：30,000円
- ・ プログラム（10:30～15:30）

実施日	テーマ	講師
10/22	大人として子どもの困り感と向き合うために必要なこと	古元 邦子さん (心理相談室アフォーダンス代表)
11/12	成人期の精神疾患の理解と心のケア～発達障がいとパーソナリティ障がいを中心に～	水谷 剛司さん (ほうゆう病院心理師室長)
11/26	困難を抱える患者の支援～医療の現場から～	河野 美代子さん (河野産婦人科クリニック 院長)
12/10	女性が直面する苦境～DVと性被害の実態と支援～	寺西 環江さん (和法律総合事務所 弁護士)
1/14	夫婦・子どもに対する支援～家族カウンセリングを中心に～	村上 雅彦さん (広島ファミリールーム 所長)
2/4	老いゆく人と家族介護者の心理過程と支援～家族介護者は何に直面し、どう苦悩しているのか～	野村 妙子さん (特別養護老人ホーム三滝苑 施設長)
2/18	対人援助職のためのセルフケア～学んだ知識や技能を仕事や生活で活かすために～	小早川 久美子さん (えなカウンセリングルーム カウンセラー)

(イ) 実績・成果

受講者は16名、修了者は15名と目標とした定員を下回る結果となった。

区分	受講者	修了者	修了率	聴講生	開講期間
第19期	23名	22名	95.7%	5名	令和3年10月～令和4年4月
第20期	23名	23名	100.0%	7名	令和4年10月～令和5年3月
第21期	16名	15名	93.8%	3名	令和5年10月～令和6年2月

※ 修了生(延べ)：662名

(ウ) 課題

平成15年から事業を開始し、21期を迎え、修了生は662名となっている。

受講者が減少した理由としては、この講座が7回連続であること、受講料が30,000円と高額であることなど、受講者の負担感があることが考えられる。

(エ) 今後の取組

当面、この事業は休止する。ただし、支援者養成のための講座は必要と考える。このため、広く県民を対象とし、支援者を目指す方を養成する講座は継続する。

(2) 男女共同参画に関する研修・啓発

ア 公開講座

(ア) 実施内容

男女共同参画社会の実現に向け、広く県民の意識啓発を図るとともに、当財団が実施する事業への誘導の役割も担って実施した。

(イ) 実績・成果

令和5年度は、県民や社会的ニーズに対応したテーマを選択し、4講座を実施した。

実施方法は、コロナ禍での講座実施でオンライン活用が日常化してきたため、会場とオンライン併用によるものが主流となった。

LGBT研修に関しては、教職員が参加しやすいよう、オンラインのみとし、学校単位で視聴可能との広報を行ったところ、

- ・ 同僚教諭とともにグループ受講ができて良かった
- ・ 遠方の学校からは会場まで行かなくても受講できて良かった
- ・ 保健室を空けることなく視聴ができて良かった（養護教諭）

などの声が寄せられ、好評であった。

実施日	テーマ	講師	定員	受講料	受講者
6/14	男女共同参画週間特別講座～なぜ縮まらないジェンダー格差！～ 【集合・オンライン】	森永 康子さん (広島大学大学院教授)	100名 (うちオンライン70名)	無料	101名 (うちオンライン64名)
8/27	私たちの社会が抱える問題～性暴力～ 【集合・オンライン】	北仲 千里さん (広島大学准教授)	100名 (うちオンライン70名)	無料	56名 (うちオンライン38名)
1/25	教職員を対象としたLGBT講演会～性の多様性と教育～ 【オンライン】	河口 和也さん (修道大学教授)	160名	無料	117名
1/27	男女共同参画公開講座～AIとジェンダーを考える～ 【集合・オンライン】	瀬古 素子さん (叡啓大学准教授)	100名 (うちオンライン70名)	無料	61名 (うちオンライン43名)



6/14 森永先生の講座



8/27 北仲先生の講座



1/27 瀬古先生の講座

(ウ) 課題

無料公開講座は、受講者から好評を得ている。

当財団が実施する意義を踏まえ、オンラインを活用し、県内に限らず時流に応じた講師を選定する必要がある。

(エ) 今後の取組

引き続き、県民ニーズや社会的ニーズに対応した講座を実施する。

イ エソールつながるトークリレー (YouTube 動画配信)

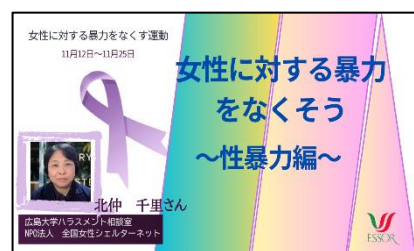
(ア) 実施内容

コロナ禍の影響から見えてきた課題に対応するため、啓発動画を作成し、YouTube を活用し配信することにより、広く県民への啓発を行った。

また、「女性に対する暴力をなくす運動月間」(11月12日から25日)に合わせ、性別や年齢に関わらず、性暴力(セクハラ)やDVの問題が深刻化している社会状況を鑑み、広く県民に対し、各課題の実態や支援の方法を知り、自分ごととして考える啓発動画を作成し、YouTube で配信した。

(イ) 実績・成果

公開期間	テーマ	講師	備考
10/10～	からだ・こころ・くらしのセルフコントロール①～④	上手幸治さん (広島経済大学准教授)	
10/28～ 2/29	女性に対する暴力をなくそう (DV編) 女性に対する暴力をなくそう (性暴力編)	北仲千里さん (広島大学准教授)	女性に対する暴力を考える月間に合わせて実施



(ウ) 課題

当財団が実施する講演や講座に参加が困難な方にとって、YouTube 配信は、個人の都合で、いつでも、どこでも、視聴することができるため、好評を得ている。

県民のニーズに沿ったテーマで動画作成することが求められている。

(エ) 今後の取組

県民ニーズや社会的ニーズに応じたテーマで定期的に動画配信を行う。

ウ LGBT 関連事業

(ア) 実施内容

性的マイノリティを取り巻く現状を知り、そこから見える問題点について改善点や解決方法を模索しながら、すべての人たちにとって身近な問題であると認識することを目的として講座を実施した。

LGBT 関連講座については、高校生向け出前講座や広島県教育委員会との共催による「セクシュアリティ教育講演会」でも実施している。

(イ) 実績・成果

実施日	テーマ	講師	受講料	受講者
6/25	ここいろ hirosshima 5周年事業 仲間・つながりづくり	授業実践発表会・活動報告会 当山敦己さん、高畑桜さん (ここいろ hirosshima 共同代表) 河口 和也さん (広島修道大学教授)	無料	160名 (うちワライ100名)
1/25	教職員を対象とした LGBT講演会 ～性の多様性と教育～ (再掲)	河口 和也さん (修道大学教授)	無料	117名 (ワライ)

(ウ) 課題

LGBTに関する事業は公開講座のみとなっているが、このほかにも YouTube を活用した動画の配信など、幅広い啓発事業を展開する必要がある。

(エ) 今後の取組

引き続き、県民ニーズや社会的ニーズに対応した事業展開を行う。

エ 研修受託事業（平成17年度から実施）

(ア) 実施内容

男女共同参画に関する講演・講座について、県内の機関・団体からの申請により、講師派遣を行い、県民の男女共同参画に関する意識啓発に寄与した。

(イ) 実績・成果

令和5年度は、17団体25回、1,692名の受講があった。

近年は、LGBTに関する理解促進やアンコンシャスバイアスのテーマが増加傾向にある。

実施日	依頼者	依頼内容（演題等）	受講者
4/10	中国労働金庫労働組合	DVの基礎知識	25名
5/19	福山市多様性社会推進課	職場におけるアンコンシャスバイアス	47名
7/25	呉市阿賀地区人権教育・啓発推進協議会	LGBTについて	58名
9/19	広島県障害者支援課	対人支援の技術に関する研修	7名
9/21	東広島市人権男女共同参画課	最強で最幸な家庭づくり	10名
9/27 (午前)	広島県北部総務事務所	人権研修（LGBTについて）	88名
9/27 (午後)	広島県北部総務事務所	人権研修（LGBTについて）	71名
9/30	北広島町人権・生活総合相談センター	男女共同参画講演会	80名
10/5 (午前)	広島県北部総務事務所	人権研修（LGBTについて）	102名
10/5 (午後)	広島県北部総務事務所	人権研修（LGBTについて）	93名

実施日	依頼者	依頼内容（演題等）	受講者
10/22	三次市定住対策・暮らし支援課	人生100年時代のキャリアデザイン	19名
10/24	広島県北部総務事務所	女性の人権課題研修	166名
10/27	安芸津町商工会	LGBTについて	5名
10/30	広島県北部総務事務所	女性の人権課題研修	194名
11/15	広島県農業協同組合中央会	女性活躍・男女共同参画について	22名
11/27	広島県高等学校教育研究会養護部会広島西部地区支部	生命の安全教育	9名
11/30	神石高原町未来創造課	ファザーリングのすすめ	9名
12/4	備北地区労働者福祉協議会	LGBTについて	62名
12/12	東広島市人権男女共同参画課	ワークライフバランス（動画配信）	456名
1/13	海田町社会福祉課	人権啓発事業	15名
1/16	一般社団法人生命保険協会広島県協会	女性活躍推進について	33名
1/18	一般社団法人生命保険協会広島県協会	女性活躍推進について	16名
2/13	尾道市職員労働組合女性部	女性のライフステージと健康	47名
3/4	東広島市企業民主化経営推進協議会	心理的安全性について	24名
3/6	三次市定住対策・暮らし支援課	男女共同参画の歴史と現状と課題	34名
計	<u>17団体 25回</u>	【参考】 R04：13団体 19回 R03：14団体 17回 R02：12団体 28回 R01：22団体 35回	1,692名

（ウ）課題

その時々々のニーズに応じたテーマについて、依頼元が希望する講師を確保する必要がある。

（エ）今後の取組

当財団の趣旨に賛同し、男女共同参画に関し講演ができる講師の確保に努めるとともに、研修受託事業は、継続して実施する。

オ わたしらしい生き方を選択するためのワークショップ事業

(川柳等公募キャンペーン事業) (広島県委託事業)

(ア) 目的

「わたしらしい生き方応援プラン」に基づき、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮しながら、人生のステージに応じて自分らしい働き方や暮らし方を選択している県民が増えることを目指すことを目的として、「川柳等公募キャンペーン事業」を広島県から受託し、実施した。

(イ) 実施概要

○ 川柳等公募キャンペーンの企画・運営

- ・ 作品の公募
- ・ キャンペーンの周知
- ・ 公募作品の審査
- ・ 情報発信 (SNSによる情報発信、リーフレットの作成)

作品の募集期間	令和5年9月14日(木)～10月15日(日)
募集	公募サイト、はがき、FAX等
応募作品数	1,649作品
入賞作品	30作品
一般投票による共感度No.1賞	663人からの投票

- ・ 受賞作品の発表 (授賞式の開催)

最優秀賞	ご飯まだ? 帰った時刻 同じだよ
優秀賞	「手伝うよ」じゃのおて一緒にやりますじゃ
優秀賞	色眼鏡 押し付けられて 押し付けた
審査員賞	理系です「女なのに?」は余計です
審査員賞	早帰宅 見送る上司の 子は3歳
県民共感度NO.1賞	ご飯まだ? 帰った時刻 同じだよ

2 多様なチャレンジを支援する事業

(1) 高校生向け出前授業

ア 実施内容

高校生が多様な人々がそれぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送り、お互いを理解し尊重することの大切さなどについて学んでもらうため、講師を学校へ派遣し、出前授業を実施した。

【テーマ】

- ① 男女共同参画の視点を通して働くこと
- ② 命の教育について
- ③ L G B Tについて
- ④ デートD Vについて
- ⑤ その他男女共同参画社会づくりに資する内容

なお、令和4年度までは全額当財団負担で同事業を実施していたが、令和5年度から広島県教育委員会と共催で実施する「セクシュアリティ教育講演会」との整合を図るため、講師謝金及び交通費は学校負担に変更した。

イ 実績・成果

令和5年度は、5校で出前授業を実施した。

実施日	実施高校名	テーマ	受講者
4/28	進徳女子高等学校	L G B Tについて	19名
10/12	ノートルダム清心高等学校	L G B Tについて	179名
10/16	県立三次高等学校	L G B Tについて	182名
11/30	比治山女子高等学校	L G B Tについて	212名
1/18	広島学院高等学校	デートD Vについて	192名
	計	5校	784名

ウ 課題

提示したテーマは、高校生に学んでほしい内容であることから、各学校に事業の周知を図る必要がある。

エ 今後の取組

事業は引き続き実施するとともに、広報にも注力する。

(2) セクシュアリティ教育講演会

ア 実施内容

広島県教育委員会事務局との共催により、高校生等がセクシュアリティに関して理解を深め、一人一人が自分らしく生きていくことができるよう、県立高等学校等でセクシュアリティに関する講演会を実施した。

【テーマ】

- ・ 性的指向や性自認などの性の多様性の理解について
- ・ 身体と心の変化と性行動や男女の相互理解などについて

イ 実績・成果

令和5年度は、18校での実施となった。

昨年度は27校での実施であったため、9校の減となった。

これは、学校からの希望があるにもかかわらず、講師との日程調整がつかなかったことが要因と考えられる。

実施日	実施高校名	テーマ	受講者
5/31	広島国泰寺高等学校	性の多様性について理解を深めよう	332名
6/7	三次高等学校	自分らしく生きる ころもからだもいろいろ 彩り豊かでええじゃん！	33名
6/30	日彰館高等学校	セクシュアルマイノリティとは～互いを理解するために～	222名
7/12	府中高等学校	自分らしく生きるために～性と生～	420名
7/12	音戸高等学校	生と性のお話し～大切なあなたを守るために～	80名
9/27	油木高等学校	生と性のおはなし	183名
10/6	高陽高等学校	性的指向・性自認について（心の在り方、自分らしさ）	253名
10/18	福山商業高等学校	大切なあなたへ～すてきないのち かがやくいのち～	139名
10/25	千代田高等学校	自分らしく生きる～ころもからだもいろいろ、彩り豊かでええじゃん～	171名
11/2	松永高等学校	助産師の「命のおはなし」	400名
11/9	因島高等学校	自分らしく生きる ころもからだもいろいろ 彩り豊かでええじゃん！	200名
11/15	瀬戸田高等学校	自分らしく生きる ころもからだもいろいろ 彩り豊かでええじゃん！	104名
11/20	可部高等学校	自分らしく生きる～ころもからだもいろいろ、彩り豊かでええじゃん！～	39名
11/24	尾道商業高等学校	若い君たちに伝えたいこと	203名
11/29	広島南特別支援学校	自分らしく生きる ころもからだもいろいろ、彩り豊かでええじゃん！	34名
12/13	大崎海星高等学校	命の授業「自分の力を信じる」	36名
12/13	大崎海星高等学校	命の授業「大切な心と体を守るために」	23名
1/10	三原東高等学校	性的指向・性自認（LGBTQ）などの性の多様性の理解について	180名
3/5	三次青陵高校	自分らしく生きる～ころもからだもいろいろ、彩り豊かでええじゃん！～	75名
	計	18校 19回	3,127名

ウ 課題

学校が希望する講師による授業が実施できるよう、講師陣の充実を図る必要がある。

エ 今後の取組

引き続き、広島県教育委員会事務局と連携し、事業を実施する。

II 環境づくり

1 男女共同参画・ダイバーシティに関する交流事業・講座・研修の企画・実施 (再掲)

- (1) 男女共同参画に関する研修・啓発 (再掲)
(「人づくり」10ページ参照)

2 多様なチャレンジを支援する事業 (一部再掲)

- (1) 高校生向け出前授業 (再掲)
(「人づくり」15ページ参照)
- (2) セクシュアリティ教育講演会 (再掲)
(「人づくり」15ページ参照)

(3) 高校・大学等との連携

ア 実施内容

高校生や大学生等に、ジェンダー平等等の課題について広く学んでもらうため、自主的な学びや発信等を相互に連携してサポートした。

イ 実績・成果

開催日	名称	内 容	参加者
6/15 7/20 1/30	叡啓大学	SNSなどで人間関係が希薄になり、孤立の進む世代である25歳以下の学生等を対象に、リアルに交流できるよう居場所づくりを行った。 企画・運営は叡啓大学の学生が行った。	61名
7/6	安田女子大学	公的施設の役割等を学ぶため、エソール広島歴史及び取組を学ぶ講座を実施。	53名
7/17	進徳女子高等学校	当財団が共催した事業「Femtech Fes 2023 in Hiroshima」において女性の健康等に関する図書を展示するため、進徳女子高等学校の生徒が県立図書館に出向き、図書選定を行い、当日は県立図書館コーナーとして展示した。	3名

ウ 課題

定期的に連携している高校・大学は限られていることから、当財団の認知度を高め、利用促進を図る必要がある。

エ 今後の取組

県内の高校や大学に積極的に働きかけ、連携を希望する学校に対してはサポートを行う。

3 男女共同参画・ダイバーシティに関する情報の収集及び提供

(1) ホームページ及びSNS等を利用した情報発信

ア 実施内容

(ア) ホームページの運営 (平成12年4月開設)

平成12年4月に開設したエソール広島ホームページを活用し、講座・イベント情報等を発信するとともに、関係機関や団体の情報も発信した。

また、新たなコンテンツを設けるなどして、県民が望む情報に少しでも早くたどり着くよう工夫した。

(イ) メールマガジンの配信

財団や広島県が実施する講座やイベントを広く県民に周知するため、月2回、「エソールほっと通信」を配信した。また、タイムリーな情報発信には号外も活用した。

(ウ) You Tube を活用した情報発信

様々な法改正や新たな制度、県民ニーズに対応し、専門家による You Tube を活用した講座を配信した。

(エ) SNS を活用した情報発信

Facebook、LINE、Instagram を活用し、講座・イベント情報等の情報を発信した。



Facebook



LINE



Instagram

イ 実績・成果

(ア) ホームページの運営（平成 12 年 4 月開設）

① アクセス件数（全ページの総アクセス数）

期 間	件 数
令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月	100, 553 件
令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月	118, 183 件
令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	107, 257 件

② アクセス件数の多いページ

ページ	件 数
施設案内	7, 267 件
施設利用	7, 222 件
相談したい方	6, 389 件
エソール広島の概要	5, 038 件
施設予約状況	3, 300 件
講座情報	2, 886 件
講座イベント情報	2, 844 件
第 21 期 メンタルサポーター養成講座	1, 545 件
講師派遣	1, 429 件
広島県相談機関・支援団体一覧	1, 348 件

(イ) メールマガジンの配信 (平成 18 年 5 月から実施)

① 配信回数

33 回 (定期配信 24 回 (月 2 回)、イベント等の号外配信 9 回、情報数 122 件)

② 登録者

期 間	登録者
令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月	1,177 名
令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月	1,244 名
令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	1,369 名

(ウ) You Tube による動画公開 (令和 2 年 6 月開設)

期 間	公開本数 (総登録数)	視聴回数	登録者数
令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月	10 本	6,609 回	79 名
令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月	14 本	4,177 回	123 名
令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	7 本 (74 本)	3,467 回	142 名

(エ) SNS による投稿

① Facebook の投稿 (平成 30 年 12 月開設)

期 間	投稿回数	フォロワー
令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月	107 回	692 名
令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月	72 回	717 名
令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	101 回	744 名

② LINE の投稿 (平成 31 年 3 月開設)

期 間	投稿回数	登録者数
令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月	51 回	74 名
令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月	36 回	86 名
令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	20 回	71 名

③ Instagram の配信 (令和 3 年 8 月開設)

期 間	投稿回数	フォロワー
令和 3 年 8 月～令和 4 年 3 月	41 回	74 名
令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月	36 回	106 名
令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	70 回	186 名

ウ 課題

ホームページに関しては、作成後かなりの年限が経過していることなどもあり、当財団の事業や魅力を十分に発信できていない。

また、スマートフォン対応となっていないことなどから、早急に改善する必要がある。

エ 今後の取組

新たなホームページを作成し、コンテンツの充実を図る。

SNS に関しては、引き続き、タイムリーな情報を発信する。

(2) 文献情報・視聴覚教材の収集及び提供（情報スペースの運営）

ア 実施内容

(ア) 図書の閲覧・貸出

男女共同参画社会実現のための学習、調査・研究等に必要な資料や図書、また、女性問題全般に関する情報を収集・整理し、県民に提供した。

【保有状況等】

区分	内容	保有数	提供方法
図書	男女共同参画に関する内容	2,962 冊	館内閲覧及び貸出
行政資料	国・都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等	433 冊	館内閲覧
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画・ドキュメンタリー等	50 本	貸出
パネル	男女共同参画に関する啓発等パネル	13 枚	

(イ) パネルの展示等

各種週間や月間に合わせ、情報スペースにおいて、パネル展示と関連図書展示を行い、週間や月間の啓発活動に努めた。

(ウ) 広島県立図書館との連携

男女共同参画に関する週間や月間に、広島県立図書館の蔵書を借り受け、展示するとともに、エソール広島から貸出できる仕組みを構築した。

(エ) 県立広島大学との連携

県立広島大学が制作したSDGsに関するDVDの寄贈を受け、情報コーナーで展示するとともに、貸出できる体制を整えた。

イ 実績・成果

(ア) 図書等の貸出実績

区分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
図書	278 冊	399 冊	376 冊
DVD	2 本	0 本	0 本
パネル	2 件	1 件	1 件

(イ) 新着図書の広報及び「押し本コーナー」の設置

法改正等による社会情勢を把握したり、講義の中で講師からの紹介等により図書の購入を行い、メルマガやインスタ等で広報を行った。（令和5年度は、3回実施。）

また、2月から情報コーナーに「押し本コーナー」を設け、スタッフがジェンダーに関する図書で読みやすいものを定期的に推薦し、展示する試みを開始した。



(ウ) パネルの展示等

令和5年度は、3回、パネル展示や関連図書展示を行った。

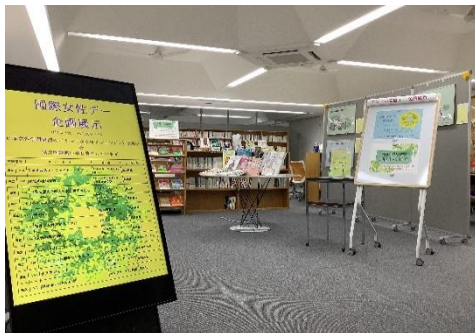
展示期間	月間・週間等	実施内容
6.7～6.30	男女共同参画週間 (6.23～6.29)	○「男女共同参画週間」企画展示 ・わた生きゼミ作品展 ・男女共同参画関連図書展示（県立図書館から貸与） ・男女共同参画に関するパネル4枚（財団所有）



展示期間	月間・週間等	実施内容
11.12～ 11.30	女性に対する暴力を なくす運動 (11.12～11.25)	○「女性と人権」企画展示 ・デジタルサイネージを活用した YouTube 動画再生 ・「なるほどジェンダー」パネル8枚 （日本女性学習財団から貸与） ・性被害・DV防止等関連図書展示 （県立図書館から貸与）



展示期間	月間・週間等	実施内容
3.8～3.16	女性の健康週間 (3.1～3.8)	・女性の健康に関連する図書展示
	国際女性デー (3.8)	○「国際女性デー」企画展示 ・「なるほどジェンダー」パネル5枚 （日本生学習財団から貸与） ・国際女性デー関連図書展示 （県立図書館から貸与、デジタルサイネージを活用し、図書紹介）



(エ) 広島県立図書館との連携

令和5年度は、4回、県立図書館から貸与を行い、展示した。

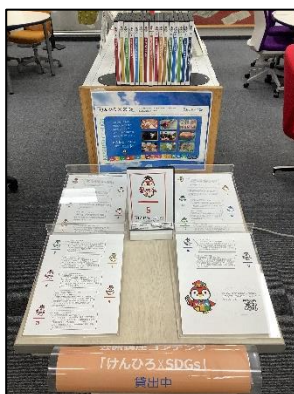
中でも、7月14日に当財団が共催した「Femtech Fes 2023 in Hiroshima」では、生理の貧困について取組を行っている進徳女子高等学校の生徒3名が県立図書館に出向き、生理や健康に関するテーマなど、展示する図書の選定を行った。

展示期間	月間・週間等	貸与図書数
6.7～6.30	男女共同参画週間 (6.23～6.29)	30冊
7.14	Femtech Fes 2023 in Hiroshima (7.14)	33冊
11.12～11.30	女性に対する暴力をなくす運動 (11.12～11.25)	22冊
3.8～3.16	国際女性デー (3.8) 女性の健康週間 (3.1～3.8)	11冊



(オ) 県立広島大学との連携

SDGsに関する県民の意識を高めるため、寄贈を受けたDVDのコーナーを設け、展示を行った。



ウ 課題

男女共同参画に関する図書を中心に閲覧・貸出を行っているところは県内でも数少ないが、県民に情報コーナーの認知度が低い。

エ 今後の取組

図書分類に関し、再整理し、県民に利用しやすい環境整備に努める。

4 女性団体等との協働・連携及び活動・交流支援

(1) 女性団体等との協働・連携

ア 実施内容

関係機関と連携し、男女共同参画社会の実現に資する事業等を実施する。

イ 実績・成果

(ア) 連携

令和5年度は、関係機関・団体（9団体）と連携し、6事業9回実施した。

特に、当財団が初めて連携し、エソール広島で開催した事業は、フェムテックに関するイベント「Femtech Fes 2023 in Hiroshima」と、「50代女性のためのキャリアデザインセミナー」である。

開催日	団体名	内 容	参加者
7/10 8/9	日本政策金融公庫 女性起業家支援 FLAP	集客力アップ Instagram 講座	130 名 (うち女性70名)
7/17	Femnication Project	Femtech Fes 2023 in Hiroshima	120 名
9/29 1/31	広島県	みんなのDX研修 ～女性×デジタル～	117 名 (うち女性75名)
10/11 10/14	広島キャリア形成・学び直し 支援センター	50代女性のためのキャリアデザイン セミナー	23 名
10/28	広島県地域女性団体連絡協議会 広島県の男女共同参画をすすめる会 広島県女性議員クラブ	おりづるタワー移転 5周年記念エソ ール広島関連団体共同事業「女性と 政治参画」	111 名 (うち女性56名)
3/16	広島県の男女共同参画をすすめる会 広島県地域女性団体連絡協議会 広島県女性議員クラブ 広島県紅葉会	国際女性デー記念企画パネルディス カッション	55 名 (うち女性10名)
計	9 団体 9 回		556 名 (うち女性211名)

(イ) 共催

令和5年度は17団体28回の共催事業を行った。前年度と比較すると、4団体1回の増となっている。

開催日	団体名	内 容	参加者
4/13～ 3/14 (12日)	公益財団法人広島県看護協会	定例相談（まちなか相談）等	136 名
4/16	ANT-Hiroshima	みんなの市民サミット2023 関連イベ ント「ウクライナを考える」	53 名
5/2	被爆体験を継承する会	マーシャル諸島からエヴィリンさんが やってくる！	100 名 (うち女性46名)
6/7	広島県生活協同組合連合会	2023「戦争も核兵器もない平和な世界 を」市民の集い	100 名 (うち女性36名)
6/24	広島弁護士会、日本弁護士連合 会	全国一斉女性の権利ホットライン	7 名
7/10 8/9	日本政策金融公庫 女性起業家支援 FLAP	集客力アップ Instagram 講座	130 名 (うち女性70名)
7/17	Femnication Project	Femtech Fes 2023 in Hiroshima	120 名
9/28	広島県・今治市雇用労働相談 センター	事業主・労務管理職向け～ハラスメン ト対策	43 名 (うち女性32名)
9/29 1/31	広島県	みんなのDX研修～女性×デジタル～	117 名 (うち女性75名)
10/7	広島県の男女共同参画をすすめる会	令和5年度広島県の男女共同参画をす すすめる会がお贈りする映画祭	400 名

開催日	団体名	内 容	参加者
10/11 10/14	広島キャリア形成・学び直し支援センター	50代女性のためのキャリアデザインセミナー	23名
10/28	広島県地域女性団体連絡協議会 広島県の男女共同参画をすすめる会 広島県女性議員クラブ	おりづるタワー移転5周年記念エソール広島関連団体共同事業「女性と政治参画」	111名 (うちワライ56名)
12/16	広島県地域女性団体連絡協議会 熊野町女性会	広島県の女性のつどい	122名
3/16	広島県の男女共同参画をすすめる会 広島県地域女性団体連絡協議会 広島県女性議員クラブ 広島県紅葉会	国際女性デー記念企画パネルディスカッション	55名 (うちワライ10名)
計	17団体 28回	【参考】R4：13団体 27回 R3：17団体 35回	1,517名 (うちワライ325名)

(ウ) 後援

令和5年度は11団体12回の後援を行った。前年度と比較すると、1団体増、回数は1回の減となっている。

開催日	団体名	内 容
4/8～ 11/22	広島県民文化大学	広島県民文化大学 第2期(2023年度)(7回)
5/27	公益財団法人広島県看護協会	令和5年度「看護の日」広島県大会
6/25	ここいろhiroshima	ここいろhiroshima 5周年事業 授業実践発表会・活動報告会
6/4	プロジェクトひろしま21	第11回ワールドフェスタ
9/23	広島県母と女性教職員の会	第69回広島県母と女性教職員の会
10/29	公益社団法人家庭問題情報センター(FPIC)広島ファミリー相談室	令和5年度 家庭問題無料相談会
9/17～ 9/18	リレーフォーライフ広島実行委員会	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 広島
11/9～ 12/18	Skytail Photo	Hiroshima Faces『広島で輝く女性シリーズ』2023
11/26	広島テレビ放送株式会社	スマルナ presents フェムミナーレ in Hiroshima
3/2	結婚の平等にYES!広島実行委員会	結婚の平等にYES!「愛で家庭に 同性婚への道のり」上映会&トークイベント
3/5～3/10	広島司法書士会	女性司法書士による女性のための相談会
3/30～ 3/31	広島テレビ放送株式会社	フェムミナーレ in Hiroshima
計	11団体 12回	【参考】R4：10団体 13回、R3：7団体 7回

ウ 課題

エソール広島を活動拠点とする団体及び男女共同参画を推進する団体の把握ができていない。

エ 今後の取組

男女共同参画の推進に寄与する事業を実施する機関・団体とは、積極的に連携し、エソール広島の認知度を高める。

(2) 女性団体等への活動・交流支援

ア 実施内容

(ア) 研修室・交流スペースの運営

① 活動場所の提供

- ・研修室1・2（定員：各30名、全室利用60名）
- ・交流スペース（定員：8名）

② 事務用品収納ボックス提供

③ コピー機の提供（使用は実費）

イ 実績・成果

施設利用団体登録者

245 団体（令和4年度末：201 団体）

【エソール広島利用者数】

エソール広島利用者総数		25,566 名
内 訳	① 研修室・交流スペースの利用者数	17,136 名
	② 情報スペース等（上記①以外）の利用者数	2,475 名
	③ 外部施設で開催した財団主催又は共催の講座等の参加者数	5,955 名

ウ 課題

エソール広島利用者数の目標値である 30,000 人に達していない。広島県が令和5年5月に実施したインターネットアンケート調査によると、エソール広島の認知度は低い状況が伺える。

エ 今後の取組

様々な機会を捉えて、エソール広島の認知度向上に向け、広報・啓発に注力する。

Ⅲ 安心づくり

1 男女共同参画に関する相談

(1) 相談事業（エソール広島相談事業）

ア 実施内容

全ての県民が自立して生きていくうえで生じる様々な悩みについて、相談者自らが解決の方策を見出すことができるよう相談に応じている。

また、関係機関・団体と連携することで、相談により適切に対応できる体制づくりに努めている。

電話相談及び面接相談は、専任相談員1名、相談員1名のほか、ボランティアによる相談員が交代制で対応している。

LGBT電話相談は、LGBTに関して知識・理解のある者に相談員を委嘱している。

(ア) 電話相談

内容	日常生活上の様々な悩みを受け止め、相談者自らが解決の方法を見いだすようサポートし、多様な悩みについて他機関と連携し解決していく。
体制	専任相談員1名、相談員1名、ボランティア相談員29名（男性2名含む。交代で1、2名が対応）

日時	10時～16時（水曜日・日曜日・祝日を除く）
----	------------------------

（イ）面接相談

内容	夫婦、家族等の問題について面接による相談【予約制】
体制	専任相談員1名、ボランティア相談員4名（交代で1名が対応）
日時	原則として毎週金曜日 13時～16時（1日2件）

（ウ）LGBT相談【電話相談】（平成29年10月から実施）

内容	自身の性的指向や性別の違和感、自分の性別がはっきりわからない等の相談、学校や職場等環境についての相談、具体的な対応事例の提案等を行う。
体制	専任相談員1名、相談員3名 ※相談員はLGBTについての知識を持ち、相談員としての実績がある者
日時	毎週土曜日 10時～16時（祝日を除く）

イ 実績・成果

（ア）相談件数

年度	電話相談	内LGBT	面接相談	計
令和3年度	2,067件	234件	101件	2,168件
令和4年度	2,375件	210件	110件	2,485件
令和5年度	2,481件	263件	105件	2,586件

【内訳】

① 相談者の年代

区分	電話相談		面接相談	
	件数	構成比	件数	構成比
30代未満	83件	3.4%	3件	2.9%
30代	189件	7.6%	17件	16.2%
40代	377件	15.2%	23件	21.9%
50代	1,013件	40.8%	38件	36.2%
60代	520件	21.0%	16件	15.2%
70代以上	258件	10.4%	8件	7.6%
不明	41件	1.7%	0件	0%
計	2,481件		105件	

② 相談者の性別

区分	電話相談		面接相談	
	件数	構成比	件数	構成比
女性	2,079件	83.8%	82件	78.1%
男性	296件	11.9%	18件	17.1%
不明	106件	4.3%	5件	4.8%
計	2,481件		105件	

③ 相談内容

区 分	電 話 相 談		面 接 相 談	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比
家 族	450 件	18.1%	18 件	17.1%
夫 婦	239 件	9.6%	65 件	61.9%
男 女	30 件	1.2%	1 件	1.0%
人 生	600 件	24.2%	10 件	9.5%
対 人	368 件	14.8%	0 件	0%
健 康	312 件	12.6%	6 件	5.7%
職 場	90 件	3.6%	0 件	0%
L G B T	263 件	10.6%	5 件	4.8%
その他	129 件	5.2%	0 件	0%
計	2,481 件		105 件	
(内DV)	262 件	10.6%	39 件	37.1%

ウ 課題

ボランティア相談員の安定的な確保が困難な状況となっている。
このため、新たな相談員を開拓し、相談技術の向上に努める必要がある。

エ 今後の取組

より社会の変化に対応できるよう相談員研修を定期的を開催する。
また、ボランティア相談員の任期が令和5年度末までであることから、6、7年度の相談員を広く県民から募集する。

(2) 専門家による無料相談会（広島県委託事業）

ア 実施内容

少子高齢化の進展や家族の形の変化に加え、新型コロナウイルス禍に外出自粛が続いたことで人とのつながりが希薄になるなど複雑な社会情勢下において、孤立・孤独を深め、深刻な悩みを抱えている人が取り残されないよう、相談者のニーズに合わせた専門家による相談会を、広島県からの受託により2回開催した。

イ 実績・成果

(ア) 専門家相談員及び相談者数
対面形式により実施

実施日	専 門 家		相 談 者
9/23	修道大学教授（LGBT）	河口 和也さん	41 人
	ここいろhiroshima 共同代表（LGBT）	當山 敦己さん	
	ここいろhiroshima 共同代表（LGBT）	高畑 桜さん	
	臨床心理士	大杉 恵子さん	

実施日	専門家		相談者
	弁護士	寺本 佳代さん	
	弁護士	大畠 礼香さん	
2/23	修道大学教授 (LGBT)	河口 和也さん	29 人
	一般社団法人ここいろ hiroshima 共同代表理事 (LGBT)	當山 敦己さん	
	一般社団法人ここいろ hiroshima 共同代表理事 (LGBT)	高畑 桜さん	
	臨床心理士	大杉 恵子さん	
	弁護士	寺本 佳代さん	
	弁護士	藤本 圭子さん	

(イ) 当日の相談室

相談室は、相談者が安心して相談できるよう、雰囲気づくりに努めた。

(ウ) 相談内容について

L G B T	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活について ・家庭環境・家族の悩みについて ・人間関係について ・将来のことについて ・身体のことについて 等
臨床心理士	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のこと、心の健康について ・家族の問題について ・DVについて ・職場の問題について ・将来のことについて 等
弁護士	<ul style="list-style-type: none"> ・性被害について ・夫婦・家族・離婚の問題について ・交通事故について ・職場の問題について ・デートDVについて 等

(エ) 相談者の満足度

		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	計
9月	人数 (人)	29	5	1			1	36
	割合 (%)	80.6	13.9	2.8			2.8	
2月	人数 (人)	22	4	1			2	29
	割合 (%)	75.9	13.8	3.4			6.9	

(オ) 相談者の声 (抜粋)

【L G B T相談】

- ・ たくさんお話を聞いていただけて、気持ちが整理できた。
- ・ 毎日、いろんなことで悩むが、子どもの力を信じていこうと思った。
- ・ ほんの少し楽になった。親に言えないことも言えて、心の底のことも言えたと思う。

【LGBTグループ相談】

- ・ 進学や将来の仕事の話など聞けて良かった。
- ・ 今の接し方で良いと言ってくださって安心した。
- ・ 子どもの居場所となれるところがあってありがたい。
- ・ 子どものことでとても悩んでいたが、いろんな考えの人がいると分かり、心が軽くなった。

【臨床心理士相談】

- ・ 的を得たアドバイスで、今日から実践してみようと思う。ズバリ言っていただけて、ありがたかった。
- ・ カウンセリングの重要性を知りつつも、自分自身は受けたことはなかった。
今日初めて受けてみて、自分の気持ちの変化にびっくりしている。自分だけでは気が付くことができない部分を先生が引っ張り出してくださったお陰で、自分のやることははっきり見えてきた！と同時に来た時に抱えていた疲れが軽くなった。

【弁護士相談】

- ・ 自ら弁護士さんのところへ足を運ぶことはなかなかできないので、相談ができて良かった。
- ・ 初めてのことで分からないことが多かったが、親身に相談にのってくださったので、心強かった。不安だらけで今後は心配でしたが、少し楽になった。

ウ 課題

実施後のアンケート調査によると、定期的な開催を望む声が多く聞かれた。

また、相談内容も複雑・多様化しており、弁護士、臨床心理士両者からの支援を必要とする相談者もあり、新たな相談体制を検討する必要がある。

エ 今後の取組

来年度も、専門家による相談会の開催を継続する。

また、様々な角度からの支援を必要とする場合の相談体制を検討する。

(3) 相談員研修

ア 実施内容

ボランティア相談員、LGBT電話相談員の資質・技術向上のため、相談員研修を実施した。

イ 実績・成果

- ・ 5月、7月、3月の3回、事例検討による研修会を開催した。
- ・ 当財団が実施した無料公開講座を研修会と位置づけた。
- ・ LGBT相談員については、対人支援の技術「カウンセリングから学ぶ」、「フォローアップ研修」を相談員研修と位置づけ、参加した。(各2名)

ウ 課題

ここ数年は、コロナ禍ということもあり、研修の回数が減少していた。

また、講師を招聘しての研修は、講師の都合と30名を超すボランティア相談員の日程を調整することが難しかった。

エ 今後の取組

相談員の資質・技術向上に向け、定期的に事例検討会や相談員研修を実施する。

IV 財団運営

(1) 評議員会の開催

開催日	内 容
6/26 (第14回)	・令和4年度事業報告・決算 ・理事の選任

(2) 理事会の開催

開催日	内 容
6/7 (第27回)	・令和4年度事業報告・決算 ・理事の選任
3/22 (第28回)	・令和5年度補正予算 ・令和6年度事業計画 ・令和6年度予算 他

(3) 広島県女性総合センター（エソール広島）の管理運営

広島県女性総合センターの適切な管理運営を実施した。

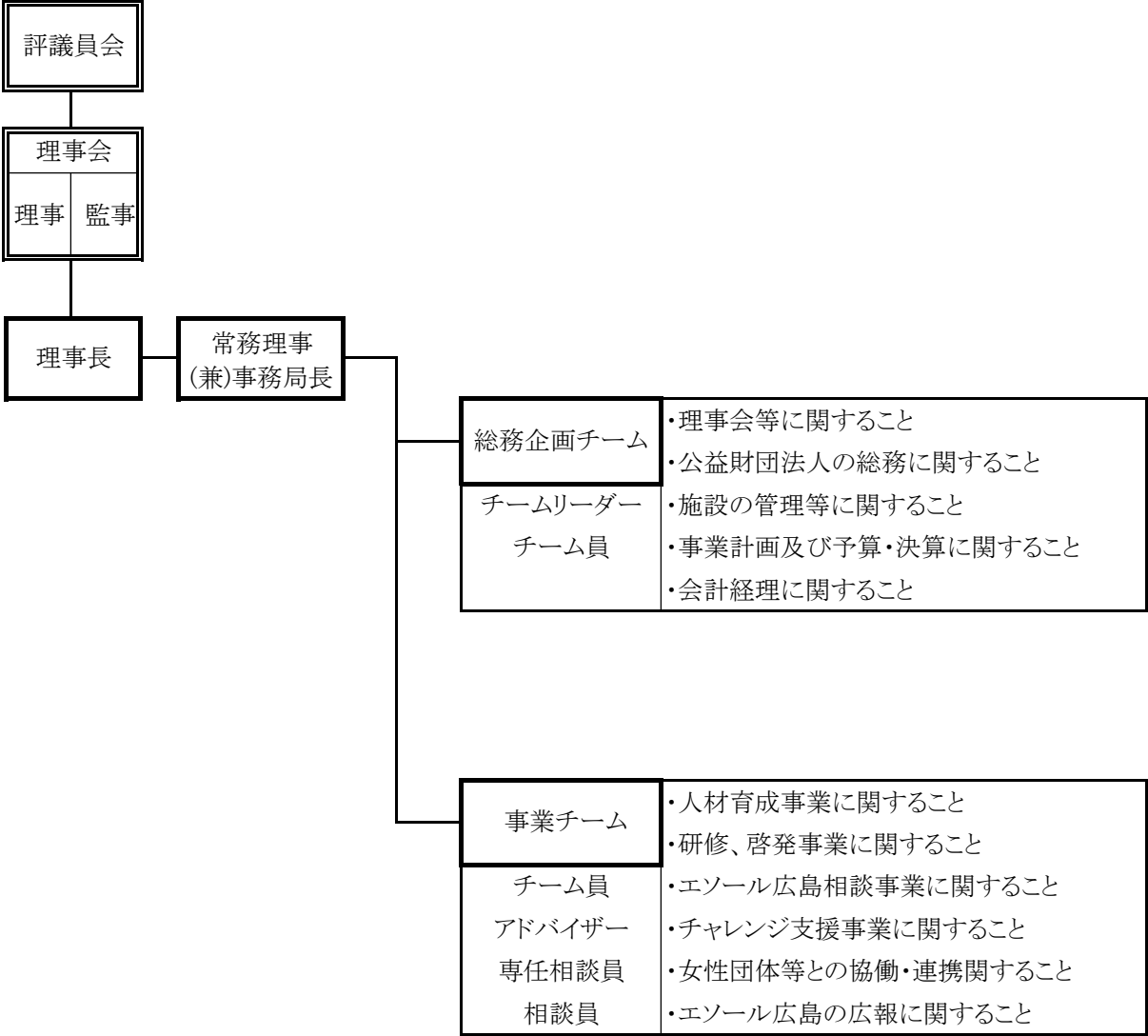
(4) 財団への支援

エソール広島応援サポーター制度を令和4年12月1日に創設し、現在サポーターを募集中である。

・登録状況

4団体、10名

IV 組織



V 運営

1 評議員会の構成

令和6年6月3日現在

職名	氏名	役職又は団体
評議員	礪田 朋子	広島文化学園大学名誉教授
評議員	森 永 力	公立大学法人県立広島大学学長(兼) 広島県公立大学法人副理事長
評議員	寺 本 佳 代	弁護士
評議員	木ノ元 陽子	中国新聞社編集局編集委員室長
評議員	熊 崎 伸 洋	広島商工会議所中小企業振興部長
評議員	村 井 由 香	広島県中小企業家同友会副代表理事
評議員	中 村 隆 行	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 代表理事
評議員	北 佳 弘	一般社団法人パパフレンド協会代表理事
評議員	武 井 晶 代	ひろしま女性大学及びエソールひろしま大学 修了生
評議員	橋 本 功 子	元福山市保健福祉局児童部子育て支援課長
評議員	坂 本 和 子	特定非営利活動法人キャリアネット広島顧問

2 理事会の構成

令和6年6月25日現在

職名	氏名	役職又は団体
理事長	石田洋子	広島大学副学長
副理事長	信夫秀紀	広島県環境県民局長
常務理事	豊原三紀男	常務理事(兼)事務局長
理事	吉村幸子	広島県の男女共同参画をすすめる会会長
理事	弓場美代	広島県地域女性団体連絡協議会会長
理事	山路英利	府中市健康福祉部長
理事	牛来千鶴	株式会社ソアラサービス代表取締役社長
監事	国府方あかり	税理士
監事	平谷優子	弁護士

3 評議員会の開催状況

回	開催期日	審議事項	報告事項
【公益財団法人広島県男女共同参画財団に移行】			
1	平成25年6月19日	<ul style="list-style-type: none"> 評議員の選任 平成24年度事業報告・決算 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度事業等
2	平成26年1月11日	<ul style="list-style-type: none"> 公益認定の変更申請 平成25年度事業計画変更 平成25年度補正予算 県有財産の無償借受 基本財産の額・財団運営基金の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅ワーク支援事業の見直し検討 平成25年度新規委託事業 活動交流支援センターの運営見直し
3	平成26年6月2日	<ul style="list-style-type: none"> 理事の選任 	
4	平成26年6月16日	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度事業報告・決算 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度事業等 寄附の募集
5	平成27年6月15日	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度事業報告・決算 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業等 寄附の状況
6	平成28年6月21日	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業報告・決算 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業等 特定費用準備資金の状況 寄附の状況
7	平成29年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業報告・決算 理事及び監事の選任 評議員の選任 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業等 エソール広島開館30周年プレ事業 特定費用準備資金の状況 寄附の状況
8	平成29年10月16日	<ul style="list-style-type: none"> 広島県女性総合センター（エソール広島）の今後 	
9	平成30年6月21日	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告・決算 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業等 特定費用準備資金の状況 寄附の状況
10	令和元年6月21日	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告・決算 理事の選任 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業等 特定費用準備資金の状況 寄附の状況 エソール広島の開館日及び開館時間の拡大
11	令和2年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告・決算 定款の変更 理事の選任 	<ul style="list-style-type: none"> 特定費用準備資金の状況 寄附の状況 新型コロナウイルス感染症防止対策の状況 新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について緊急アンケート結果報告
12	令和3年6月24日	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業報告・決算 定款の変更 理事及び監事の選任 評議員の選任 	<ul style="list-style-type: none"> 特定費用準備資金の状況 寄附の状況 令和2年度資金管理の実績 第2回新型コロナウイルス禍が及ぼす影響についてアンケート結果報告
13	令和4年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告・決算 理事の選任 	<ul style="list-style-type: none"> 特定費用準備資金の状況 寄附の状況 令和3年度資金管理の実績

14	令和5年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告・決算 理事の選任 	<ul style="list-style-type: none"> 特定費用準備資金の状況 寄附の状況 令和4年度資金管理の実績
—	令和6年5月7日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 理事の選任 	
—	令和6年6月3日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 評議員の選任 定款の変更 	
15	令和6年6月24日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事業報告・決算 理事、監事及び理事増員の選任 	<ul style="list-style-type: none"> 特定費用準備資金の状況 寄附の状況 令和5年度資金管理の実績

4 理事会の開催状況

回	開催期日	審議事項	報告事項
【公益財団法人広島県男女共同参画財団に移行】			
1	平成25年6月11日	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度事業報告・決算 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度事業等
2	平成26年1月11日	<ul style="list-style-type: none"> 公益認定の変更申請 平成25年度事業計画変更 平成25年度補正予算 県有財産の無償借受 基本財産の額・財団運営基金の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅ワーク支援事業の見直し検討 平成25年度新規委託事業 活動交流支援センターの運営見直し
3	平成26年3月25日	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度補正予算 平成26年度事業計画 平成26年度予算 平成26年度資金管理計画 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度事業実施状況 役職員の交代
4	平成26年6月2日	<ul style="list-style-type: none"> 役員を選任 平成25年度事業報告・決算 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度事業等 寄附金の募集
5	平成27年3月26日	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度補正予算 平成27年度事業計画 在宅ワーク支援センターの休止 平成27年度予算 平成27年度資金管理計画 理事選任に係る評議員会の書面決議 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度事業実施状況 中期ビジョン
6	平成27年6月1日	<ul style="list-style-type: none"> 副理事長の選任 平成26年度事業報告・決算 特定費用準備資金取扱規程の制定 理事の選任議案 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業等 寄附金の状況
7	平成27年11月30日	<ul style="list-style-type: none"> 在宅ワーク支援センターの廃止 公益認定の変更申請 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業実施状況等

8	平成28年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度補正予算 平成 28 年度事業計画 平成 28 年度予算 平成 28 年度資金管理計画 第 6 回評議員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度事業実施状況
9	平成28年6月6日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度事業報告・決算 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度事業等 特定費用準備資金の状況 寄附金の状況
10	平成29年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度補正予算 平成 29 年度事業計画 平成 29 年度予算 平成 29 年度資金管理計画 第 7 回評議員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度事業実施状況
11	平成29年6月2日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度事業報告・決算 理事及び監事の選任議案 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度事業等 エソール広島開館 30 周年プレ事業 特定費用準備資金の状況 寄附金の状況
12	平成29年8月25日	<ul style="list-style-type: none"> 広島県女性総合センター（エソール広島）の今後 	
13	平成29年9月11日	<ul style="list-style-type: none"> 広島県女性総合センター（エソール広島）の今後 	
14	平成29年10月16日	<ul style="list-style-type: none"> 広島県女性総合センター（エソール広島）の今後 	
15	平成30年2月8日	<ul style="list-style-type: none"> 広島県女性総合センター（エソール広島）の今後 	
—	平成30年3月31日 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度補正予算 平成 30 年度事業計画 平成 30 年度予算 平成 29 年度資金管理計画 財団（広島県女性総合センター）の移転 第 9 回評議員会の開催 	
16	平成30年6月5日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度事業報告・決算 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度事業等 特定費用準備資金の状況 寄附金の状況 エソール広島の移転（中間報告）
17	平成31年3月28日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度補正予算 平成 31 年度事業計画 平成 31 年度予算 平成 31 年度資金管理計画 特定費用準備資金積立限度額の変更 第 10 回評議員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度事業実施状況 役職員の交代 エソール広島の開館日及び開館時間の拡大

18	令和元年6月5日	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告・決算 理事の選任議案 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業等 特定費用準備資金の状況 寄附金の状況 エソール広島の開館日及び開館時間の拡大
19	令和元年11月27日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度補正予算 	<ul style="list-style-type: none"> エソール広島の利用者の状況 エソールひろしま大学の見直し エソールひろしま大学防災人材養成講座 令和元年度事業の実施状況
—	令和2年5月13日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 副理事長の選任 令和2年度事業計画 令和2年度予算 令和2年度資金管理計画 第11回評議員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度決算見込み 令和元年度事業報告書 (令和2年2月末現在)
20	令和2年6月8日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告・決算 理事の選任議案 	<ul style="list-style-type: none"> 理事長・常務理事の職務執行状況 令和2年度事業計画の見直し 定款の変更 特定費用準備資金の状況 寄付金の状況 新型コロナウイルス感染症防止対策の状況
21	令和3年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度補正予算 令和3年度事業計画 令和3年度予算 令和3年度資金管理計画 第12回評議員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 理事長・常務理事の職務執行状況 令和2年度事業報告書 (令和3年2月末現在)
—	令和3年6月9日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業報告・決算 理事・監事の改選 評議員の改選 	
22	令和3年6月18日	<ul style="list-style-type: none"> 理事及び監事の選任議案 	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の職務執行状況 特定費用準備資金の状況 寄附金の状況 第2回新型コロナウイルス禍が及ぼす影響についてアンケート結果報告
23	令和3年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> 理事長(代表理事)の選任 副理事長・常務理事の選任 	
24	令和4年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度補正予算 令和4年度事業計画 令和4年度予算 令和4年度資金管理計画 第13回評議員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 理事長・常務理事の職務執行状況 令和3年度事業報告書 (令和4年2月末現在)
25	令和4年6月3日	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告・決算 理事の選任議案 	<ul style="list-style-type: none"> 特定費用準備資金の状況 寄付金の状況

—	令和4年7月7日 (書面決議)	・ 常務理事の選任	—
26	令和5年3月24日	・ 令和4年度補正予算 ・ 令和5年度事業計画 ・ 令和5年度予算 ・ 令和5年度資金管理計画 ・ 第14回評議員会の開催	・ 理事長・常務理事の職務執行状況 ・ 令和4年度事業報告書 (令5年2月末現在)
27	令和5年6月7日	・ 令和4年度事業報告・決算 ・ 理事の選任議案	・ 特定費用準備資金の状況 ・ 寄付金の状況
—	令和5年7月5日 (書面決議)	・ 理事長(代表理事)の選任 ・ 副理事長・常務理事の選任	—
28	令和6年3月22日	・ 令和5年度補正予算 ・ 令和6年度事業計画 ・ 令和6年度予算 ・ 令和6年度資金管理計画 ・ 第15回評議員会の開催	・ 理事長・常務理事の職務執行状況 ・ 令和5年度事業報告書 (令6年2月末現在) ・ 中期ビジョン(案) ・ 特定費用準備資金
—	令和6年4月19日 (書面決議)	・ 理事の選任議案	
—	令和6年5月20日 (書面決議)	・ 副理事長、常務理事の選任	
—	令和6年5月20日 (書面決議)	・ 評議員の選任議案 ・ 定款の変更議案	
29	令和6年6月3日	・ 令和5年度事業報告・決算 ・ 理事、監事及び理事増員の選任議案	・ 理事長・常務理事の職務執行状況 ・ 特定費用準備資金の状況 ・ 寄付金の状況
30	令和6年6月25日	・ 理事長(代表理事)の選任	

VI 決算・予算

(単位：千円)

区 分		決 算		予 算
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収益	基本財産等運用益	183	168	161
	事業収益等収入	10,885	13,045	3,517
	県補助金等収入	37,026	35,850	38,221
	寄付金収入	0	1	100
	その他の収益	16	20	0
	計	48,110	49,084	41,999
経常費用	事業費	46,084	45,698	42,894
	管理費	2,615	2,098	2,282
	計	48,699	47,796	45,176
経常増減額		▲589	1,288	▲3,177
経常外増減額		0	0	0
法人税等		71	50	21
一般正味財産増減額		2,400	1,238	▲3,198
指定正味財産増減額		▲3,714	2,281	▲559
正味財産増減額合計		▲1,314	3,519	▲3,757

Ⅶ 施設

「エソール広島」は、女性の地位向上と社会参画活動の拠点施設として、広島市中区富士見町地内の旧婦人会館跡地に建設されました。民間活力の導入による土地の高度な利用を図る目的で、広島県、広島県歯科医師会、広島県国民健康保険団体連合会、広島県住宅供給公社の四者が共同で建設した複合施設でしたが、「エソール広島」（公益事業部門）は、富士見町地区の再開発事業により、平成30年6月1日から「おりづるタワー」10階に移転し、収益事業（部門）は同年9月末をもって終了しました。

「エソール」は、フランス語で「飛躍・発展」を意味しています。

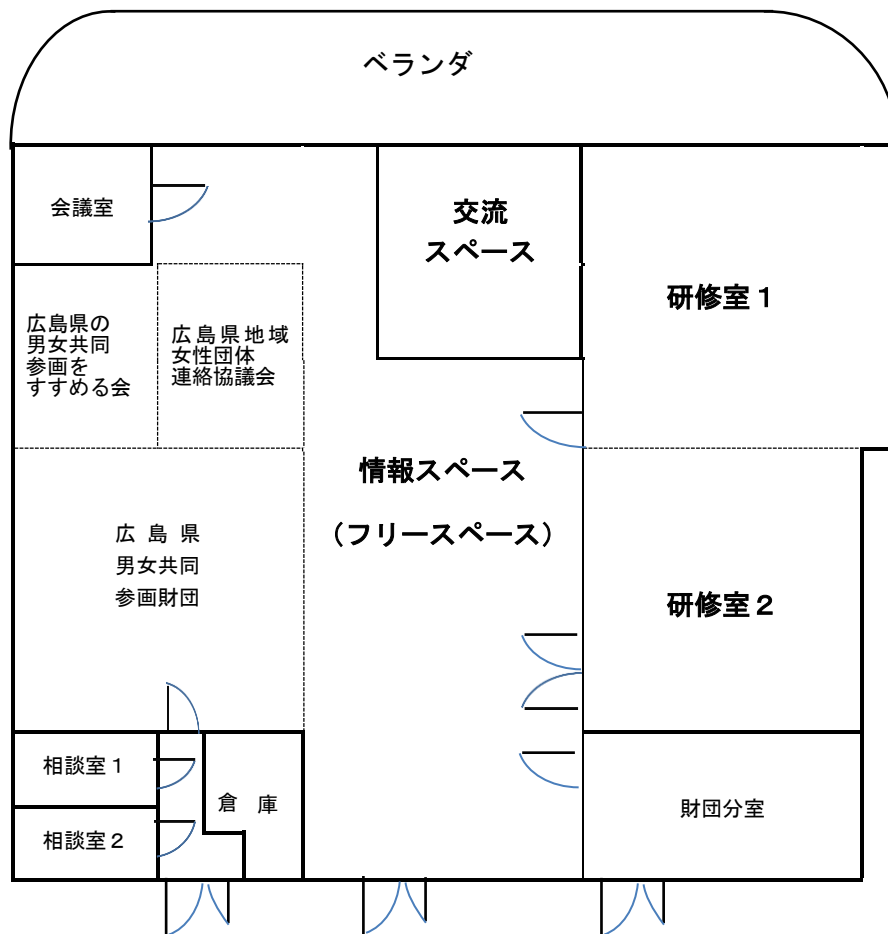
おりづるタワーの概要

所在地	広島市中区大手町一丁目2番1号
所有者	株式会社広島マツダ
管理運営	広島県が使用貸借する10階の広島県女性総合センター（愛称：エソール広島）を公益財団法人広島県男女共同参画財団が管理運営
規模構造	鉄骨造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地上14階、地下2階
延床面積	11,590.63平方メートル（うち広島県賃貸借分707.31平方メートル）

（1）各階構成

14階	オフィス
12～13階	商業施設（屋上展望台）
11階	オフィス
10階	広島県女性総合センター
3～9階	オフィス
2階	貸会議室
1階	商業施設
地下1階	駐車場
地下2階	駐輪場

(2) 施設・設備



名 称	面 積	定 員
研修室1	76.62 m ²	45名
研修室2	72.70 m ²	45名
交流スペース	35.54 m ²	12名
フリースペース	150.26 m ²	—
会議室	18.82 m ²	—
相談室1	9.66 m ²	—
相談室2	9.57 m ²	—
事務スペース (3団体)	112.92 m ²	—
財団分室	39.25 m ²	—
倉庫	13.79 m ²	—

(3) 開館時間

室 名 等	開 館 時 間
交流スペース	午前9時30分から午後9時まで (要申込)
研修室	
情報スペース	午前9時30分から午後6時15分まで
電話相談	午前10時から午後4時まで

(4) 休業日

- ・ 12月29日～1月3日
- ・ 電話相談は、上記に加えて、水曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日

VIII 沿革

年 月	主 な で き ご と
昭和 55 年 11 月 (1980)	・広島県の婦人の地位向上と社会参加を促進するための組織を結成するための第 1 回発起人会
昭和 56 年 4 月 (1981)	・「広島県の婦人の地位向上と社会参加をすすめる会」発足 (以下「すすめる会」)
昭和 58 年 10 月 (1983)	・婦人総合センター建設について知事に要望書提出 (すすめる会)
昭和 60 年 4 月 (1985) 6 月 7 月	・婦人総合センター建設についてプロジェクト会議設置 (すすめる会) ・婦人総合センター基本構想策定委員会設置 (広島県) ・婦人総合センター基本構想について協議 (すすめる会)
昭和 61 年 3 月 (1986) 5 月 6 月 8 月 9 月	・婦人総合センター基本構想決定 (広島県) ・婦人総合センター管理運営のための財団法人設立基金の募金について合意 (すすめる会) ・財団法人設立基金募金について実施要綱決定 (すすめる会) ・婦人総合センター設計委託、地質調査実施 (広島県) ・婦人総合センター整備事業推進会議設置 (広島県) ・財団法人設立募金委員会発足 (すすめる会)
昭和 62 年 3 月 (1987) 8 月	・広島県、広島県歯科医師会、広島県国民健康保険団体連合会、広島県住宅供給公社の 4 者で婦人総合センター建設工事契約 ・婦人総合センター建設工事着工
昭和 63 年 3 月 (1988) 4 月 7 月 8 月 9 月	・新設財団法人基本財産として 3,000 万円の出資を決定 (広島県) ・新設財団法人基本財産として 1,000 万円の出資を決定 (広島県婦人団体連絡協議会) ・新設財団法人基本財産として 2,100 万円の出資を決定 (すすめる会) ・財団法人広島県女性会議設立発起人会 ・財団法人 6,100 万円の基本財産受入れ ・広島県知事から財団法人の設立許可 ・財団法人広島県女性会議第 1 回理事会 ・婦人総合センターの愛称を「エソール広島」に決定
平成元年 3 月 (1989) 4 月 9 月	・エソール広島落成式 ・エソール広島オープン記念行事 ・ひろしま女性大学人材養成課程・通信課程開講
平成 2 年 4 月 (1990) 10 月	・エソール広島オープン 1 周年記念行事 ・広島県女性海外派遣事業 (インドネシア、タイ)
平成 3 年 10 月 (1991)	・広島県女性海外派遣事業 (マレーシア、タイ)
平成 4 年 6 月 (1992) 10 月	・財団法人広島県女性会議の基本財産 1,300 万円増額 (総額 7,400 万円) ・附帯事業関係 (会議室使用料金、レストラン、ホテル等) 料金改定 ・「留学生コーナー」がひろしま国際センターへ移転 ・広島県女性海外派遣事業 (インドネシア、シンガポール)
平成 5 年 9 月 (1993)	・ひろしま女性大学人材養成課程を広島校・福山校として開講 ・広島県女性海外派遣事業 (中国、韓国)
平成 6 年 4 月 (1994) 10 月	・エソール広島オープン 5 周年記念行事 ・エソール広島国際交流事業～アジアからの女性を迎えて (韓国、インドネシア、タイの女性を招待)
平成 7 年 8 月 (1995)	・広島県女性海外派遣事業 (第 4 回世界女性会議・中国北京市)

平成8年5月 (1996) 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま女性大学備北講座開講（12年度まで） ・エソール広島国際交流事業～女と男のパートナーシップ（中国、シンガポール、タイの女性を招待）
平成9年5月 (1997)	<ul style="list-style-type: none"> ・エソール広島国際交流事業～ハワイ州に10名派遣（広島県とハワイ州友好提携調印式、記念祝賀会、ハワイ州女性団体との交流） ・ひろしま女性未来会議発足
平成10年10月 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> ・エソール広島開館10年記念事業（エソールフェスティバル）（ベアテ・シロタ・ゴードン講演、ハワイ州女性団体招待、エソール女性議会等）
平成11年7月 (1999)	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進21世紀基金創設
平成12年 4月 (2000) 10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・就業援助事業の直轄運営 ・ホームページ開設 ・ひろしま女性いきいき講座開講 ・男女共同参画社会づくり啓発パネル制作 ・広島県女性海外派遣友の会がハワイ州の女性団体を訪問
平成13年3月 (2001) 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ITフォーラム開催（広島市、東広島市） ・女性のためのIT教室開設（平成17年度まで） ・地域入門講座開講 ・地域活動団体の育成・支援事業開始
平成14年3月 (2002) 4月 7月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県男女共同参画推進条例制定記念フォーラムの開催 ・付帯サービス部門の直営化 ・エソール広島映画祭の開始（「平塚らいてうの生涯－元始、女性は太陽であった－」） ・一日エソール開講（15年度まで）
平成15年4月 (2003) 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・レストラン「ステラ」のリニューアル・オープン ・メンタルサポーター養成講座開講
平成16年3月 (2004) 4月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・9階客室改修工事 ・在宅ワーク支援センター広島に名称変更（旧：就業援助センター） ・在宅ワーク支援センター福山開設
平成17年1月 (2005) 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・1階ロビーに無料のエソール広島展示コーナーを開設 ・在宅ワーク支援の一環として県から発注企業特別開拓事業を受託 ・メンタルサポーター養成講座において聴講制度を設置 ・研修受託事業開始
平成18年5月 (2006) 6月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジンの発行開始 ・「ひろしま女性大学」及び「ひろしま女性いきいき講座」を改変し発展させた新大学の名称を「エソールひろしま大学」に決定 ・男性対象講座開始 ・エソールひろしま大学基礎講座開講
平成19年3月 (2007) 4月 6月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット通信講座開始 ・レストラン「ステラ」を外部委託し、リニューアル・オープン ・エソールひろしま大学応用講座開講 ・エソールひろしまフォト・川柳コンテスト実施 ・エソールひろしま大学専科開講
平成20年2月 (2008) 3月 4月 5月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ内にチャレンジサイトを開設 ・在宅ワーク支援事業（県委託）終了 ・在宅ワーク支援事業を自主事業とし、支援センター福山を広島に統合 ・全国女性会館協議会から「女性のためのパソコン講座」受託 ・エソール広島20周年記念事業「エソール祭」開催
平成21年6月 (2009) 10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・「デートDV相談」受付開始 ・「エソールひろしま大学」基礎講座 リニューアル ・全国女性会館協議会から「女性のためのパソコン講座地域展開事業」受託

平成22年 4月 (2010) 7月 10月 23年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・全国女性会館協議会から「女性のためのパソコン講座」受託 ・エソールひろしま大学応用講座リニューアル ・女性のためのチャレンジ相談受付開始 ・広島県から「在宅ワーク発注企業開拓事業」受託 ・エソールひろしま大学専科リニューアル
平成24年 3月 (2012) 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルエソール広島宿泊事業部門を貸事務室に変更 ・広島県から「働く女性のための就業継続応援事業」受託（平成28年度まで） ・附帯サービス部門を営業課に名称変更
平成25年 3月 (2013) 4月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県知事から公益財団法人移行の認定 ・公益財団法人広島県男女共同参画財団に名称変更 ・公益財団法人の基本財産の額を6,100万円に決定 ・働く女性のネットワーク会議を開催（広島県受託）
平成26年 2月 (2014) 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性活躍促進シンポジウム」を開催（広島大学受託事業） ・広島県から「女性の活躍促進事業」受託
平成27年 3月 (2015) 4月 9月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅ワーク支援センター休止 ・広島県から「メンター養成講座事業」受託 ・広島県から「子育て支援員研修事業」受託 ・在宅ワーク支援センター廃止
平成28年 2月 (2016) 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島大学から「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）セミナー」受託 ・広島県から「子育て支援員研修事業」受託
平成29年 6月 (2017) 8月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県から「女性の活躍促進における人材育成研修運営業務」受託 ・エソール広島開館30周年プレ事業開催 （ノーベル平和賞受賞者ジェリー・ホワイト氏講演会） ・LGBT 電話相談開始（第2土曜日）
平成30年 4月 (2018) 6月 9月 10月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県から「家事分担促進事業業務」「人権啓発指導者等養成等業務」受託 ・広島県女性総合センター「おりづるタワー」に移転 ・LGBT 電話相談日の拡充（毎週土曜日） ・旧エソール広島（富士見町）閉館（9月末） ・収益事業を廃止（9月末） ・交流スペース・研修室の共用開始 ・情報スペース書籍の貸出し再開 ・交流スペース・研修室の利用時間拡大（申込みがあった場合21時まで延長可） ・Facebook 開始 ・エソール広島移転お披露目会及び7月豪雨災害被災者支援助成金贈呈式開催
平成31年 4月 (2019)	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県から「人権啓発指導者等養成等業務」受託 ・エソール広島開館日及び閉館時間拡大（開館日は12/29～1/3を除く全ての日、開館時間は9:30～21:00（日曜・祝日は原則18:15まで[交流スペース・研修室は申込みがあった場合、21:00まで延長可]に変更） ・エソールきらめきトークライブ開始
令和2年 2月 (2020) 4月 6月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・エソールひろしま大学（基礎講座・応用講座）休止、女性目線で考える防災講座を開講 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、財団主催の講座・研修事業を中止又は延期 ・施設の利用を段階的に休止（4/14～5/31 夜間閉館、4/18～5/10 相談業務以外の業務を全て休止、図書貸出は5/11、情報コーナーは5/18から再開） ・相談業務は3/8～3/31まで電話相談時間短縮、面接相談休止（4/1から再開） ・新型コロナウイルスが女性に及ぼす影響について緊急アンケート調査実施 ・6/1から全ての業務を再開（研修室等の利用人数は約半数に制限） ・エソール広島 YouTube チャンネル開設（エソールつながるトークリレー配信） ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため夜間閉館（12/12～）

令和3年1月 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ・エソールひろしま大学（オンライン）を開講、SDGsをテーマに男女共同参画社会づくりを推進するため、困難・不確実性が拡大する時代に、自主性・自立性を持ち、柔軟に考え、生き抜く力を身に付けた人財の養成を目的にリニューアル。
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回新型コロナウイルス禍が及ぼす影響についてアンケート調査実施
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（5/8～6/20） （財団主催の講座・研修事業を中止又は延期、相談業務は通常どおり実施）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県から「性差に係る固定的役割意識の解消に向けた啓発事業」受託 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館（7/31～9/30） （財団主催の講座・研修事業を中止又は延期、相談業務は通常どおり実施）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県から依頼を受け生理用品の無償配布を実施
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県から「わたらしい生き方を選択するためのワークショップ事業」受託
令和4年1月 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館（1/9～3/6） （財団主催の講座・研修事業を中止又は延期、相談業務は通常どおり実施）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家（弁護士、臨床心理士等）による相談会及び支援者への助言会開催
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・対人支援の技術開講
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・県立学校を対象にセクシュアリティ教育講演会を広島県教育委員会と共催実施
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県から「わたらしい生き方を選択するためのワークショップ事業」受託 ・広島県から「専門家（弁護士、臨床心理士）による無料相談会」受託
令和5年5月 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・G7サミットのため、臨時休館（5/18～5/21）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・対人支援の技術（カウンセリングから学ぶ）開講
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・「フェムテックフェス in hiroshima」を他団体と共催で開催 ・広島県から「専門家（弁護士、臨床心理士、LGBT等支援者）による無料相談会」受託
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県から「わたらしい生き方を選択するためのワークショップ事業（川柳等公募キャンペーン業務）」受託
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・対人支援の技術フォローアップ講座開講
令和6年1月 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員を主な対象としたLGBT講演会（性の多様性と教育）開催